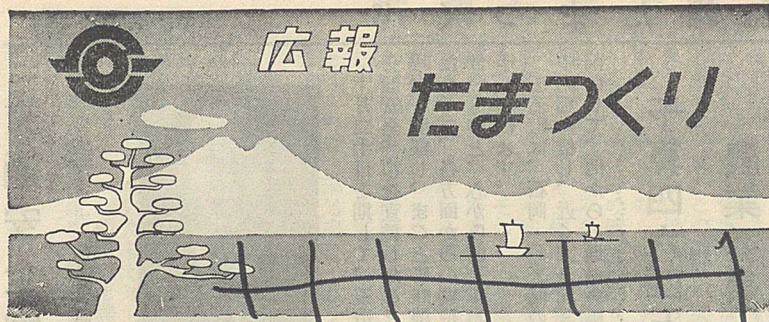




広報

たまつくり

第95号

昭和42年11月1日 毎月1回1日発行

昭和38年1月23日第三種郵便物認可

町のすがた

商店の数 (昭和40年商業統計)	分	類	商店数	従業員
卸売業	三〇	八八		
衣料品小売業	一八	五九		
飲食料品小売業	二六	二四〇		
自転車小売業	一三	一九〇		
家具建具小売業	一〇	一六		
その他小売業	四五	六七		
飲食店	一八	五四		
総数	二六〇	五四三		

交通安全都市を宣言

交通事故の絶滅を期して

玉造町交通対策協議会(坂本常蔵会長)では、一〇月二〇日、町を交通安全都市として宣言することを決定しました。

宣言文は次のとおりですが、この決定を記念して、主要道路に高さ三メートルの安全塔十二基を建てることになりました。

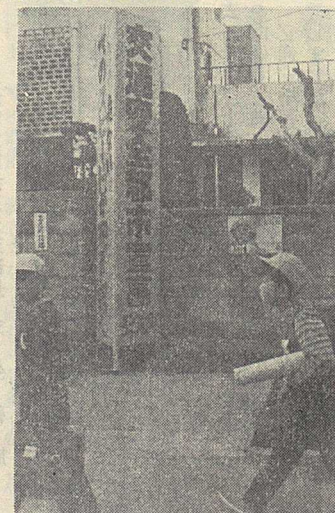
なお、今後は、この宣言の趣旨にそって、安全都市実現のための諸施策を講じることになります。

交通安全都市宣言

わが国における産業経済の成長と、生活文化の向上に伴ない、急激な自動車交通の発達による、全国的に均一化の傾向を示している。交通事故もそれにつれて地方部へ移行してきており、我々の最も

身近かな惨事として、大きな社会問題となっている。

わが玉造町の交通事情も、ここ数年から、鹿島開発をはじめとする各地方開発道路整備等に関する自動車の大増大に伴い、大型化とあいまって、各種自動車交通が急激に増加しており、当町を縦断する石岡・潮来線をはじめ各幹線において、住民は日夜交通禍の脅威にさらされている現状である



我々は、この際、かかる人命、財産、家庭の平和まで奪ってしまう、恐ろしい交通事故を絶滅するため、町民の各階層、全組織、打って一丸となって、交通安全の自覚に徹するとともに、安全運動を強力に推進することの急務を痛感するものである。

よって、全町民とともに、安全なる町の理想を達成すべく、ここに、玉造町を「交通安全都市」とすることを宣言する。

新農業委員 きまる

会長に笹目義男さん

町農業委員会委員の、任期満了による一般選挙は、十月五日に行なわれ、一八名を決定しました。

なお、各農業協同組合から推薦された理事五名、農業共済組合から推薦された理事一名、町議会の推薦された学識経験者五名を、農業委員として選任しました。

選挙による委員

鈴木徳右衛門 六八 玉川・荒宿
大森 隆 五八 〃・西蓮寺
小畑 寿 六〇 〃・手賀・新田
曾根 康充 四九 〃・宿

磯山 忠相 五一 手賀・新宿
大場 直 四四 玉造・泉
金井新次郎 五三 〃・諸井
小島 信男 四七 〃・柄貝
川島 武夫 五六 〃・緑が丘
栗原 三郎 五七 〃・現原・拾木
荒木田 盛 五七 〃・中山
★鈴木 正 四六 〃・若海
笹目 進 五二 〃・谷島
花立 忠男 五五 〃・立花・浜
羽成 善胤 五四 〃・羽生
横田 実 五九 〃・〃

鈴木 一二 六五 立花・沖洲
選任された委員

(農業協同組合推薦)

石川 武夫 四六 玉川・西谷
齊藤 清一 五七 手賀・小座山
川島 治助 六二 玉造・下宿
石川 実 六一 現原・中山
島田関之助 六五 立花・浜
(農業共済組合推薦)
高塚 吉雄 六〇 手賀・船津
(町議会推薦)
○飯島 健 七〇 玉川根古屋
田宮 照光 五九 手賀竹の塙
大和田尚夫 五九 玉造・里
笹目 義男 六〇 現原・谷島
◆加固 進 四二 立花・浜

☆は農政部会長
○は会長
◇は農地部会長

町政日誌

10月

- 3日 企業誘致委員会
- 5日 農業委員会委員選挙
- 6日 町議会協議会
- 9日 臨時町議会
- 16日 農業委員会総会
- 17日 病虫害対策協議会
- 20日 交通安全対策協議会
- 25日 農業委員会総会
- 30日 町議会協議会
- 定例監査

町議会議員の選挙

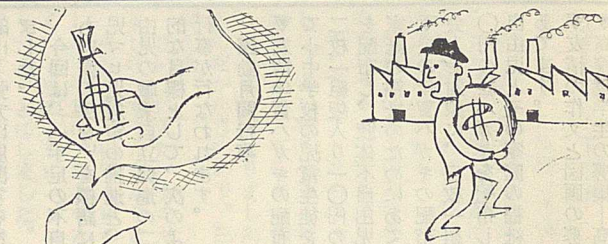
十二月十五日投票

任期満了にともなう、町議会議員の一般選挙が、十二月十五日に行なわれます。

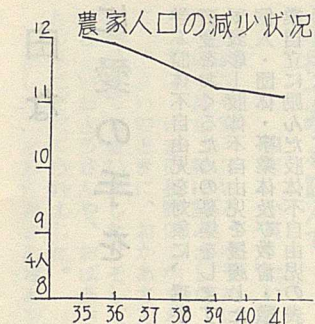
日程は、次のとおりです。

- 十一月二十日 選挙執行についての選挙管理委員会を開催
- 選挙期日の決定
- 選挙長・同代理者、投票管理者同代理者の選任
- 十二月八日 立候補受付開始
- 不在者投票受付開始
- 十二月十日 投票所・選挙会の場所および日時を告示
- 十二月十一日 立候補しめきり
- 十二月十二日 投票立会人選任
- 選挙立会人届出しめきり
- 入場券配布完了
- 十二月十三日 補充立候補しめきり
- 選挙立会人のくじ執行
- 十二月十五日 投票
- 当選告知および告示
- 十二月十六日 当選証書の付与

は、どういふことをしたらよいの
でしょうか。農業は、あくまでも
土地あってのものですから、土地
を離れて農業所得を考へることが
できません。
そこで、前にこの地方の農家が
約一ヘクタールの耕地で、だいた
い三十五・六万円の農業生産
額をあげていることを思い出して
ください。
工場生産と、農業生産との割合
が、約三倍であったのですから、
簡単に今の耕作反別の三倍をもつ
ことにしたら、同じ所得に近づく
のではないのでしょうか。この考え
は、いわゆる「経営規模の拡大」
ということで、一戸当りの耕作面



農業所得は
工場所得の
3分の1

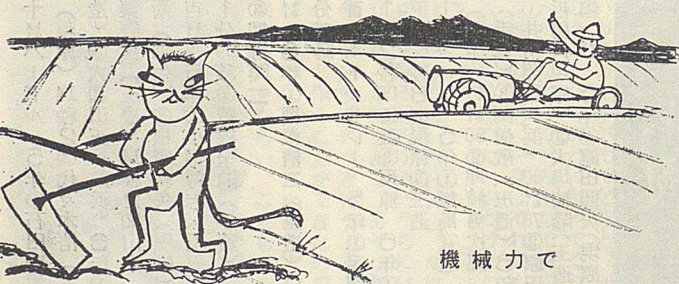


減少していく状況を示したもので
す。
農家の仕事というものは、昔か
ら「朝に星をいただいて、夕に月
を踏んで帰る」ほどの苦しい労働
ですから、このように、だんだん



機械力を入 れて

積を約三ヘクタール
程度としたらいまの
農家では、百万円の
農業生産をあげること
ができ、工場勤労
者とは同じ所得が
あると思われるので
す。どうしても現在
農家がもっている耕
地は、まだまだせま
いといえるでしょう
が、現状でしょう。



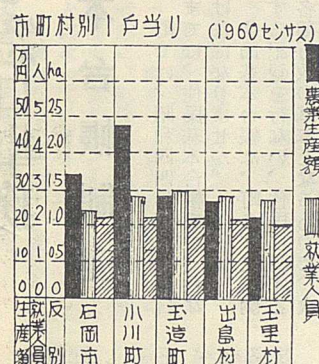
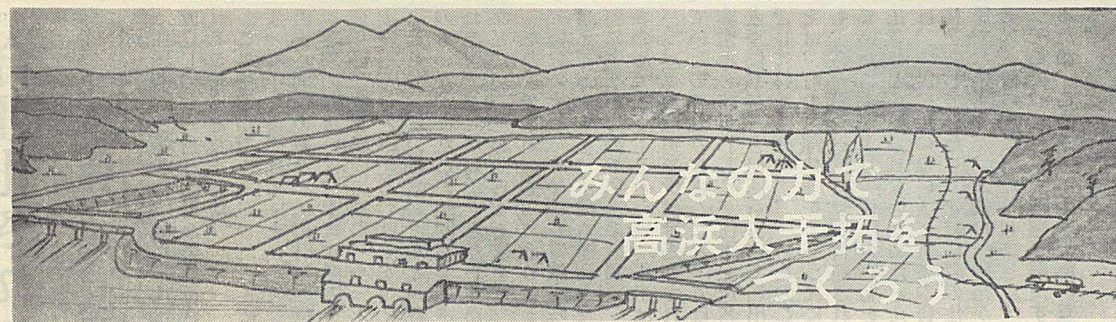
機械力で
労力不足の
解消を

働き手が少なくなったらいへんで
す。そのうえ、これ程精一ぱいに
働いても、工場等で働く人たちに
り所得が少ないのですから、農業
はあるいは割りの悪い企業かも知
れません。
このことが原因でないにしても
ほんとうに年々農家の働き手が、
都市の労働にとられてしまい、農
村の人手不足が深刻になって、よ
くいわれている、猫の手も借りな
ければやりにくくなっているの
が、現状でしょう。
だから、せつかく作物を育てて
も、十分手入れをすることも
思うようにいきませんから、たく
さん収穫をあげることができそ

にもありません。ますます農家の
稼ぎは少なくなり、工場勤労者との
所得の差が開くばかりです。現
状でこのありさまですから、こ
ど三ヘクタールもつくることにな
ったら、とても手不足で、もてあ
ますかも知れません。
そこで、三ヘクタールの耕地を
工場勤労者なみ、またはそれ以下
の労働で、現在以上に生産をあげ
ていくためには、どうしても人力
に代わるものを使わなければなら
ません。むずかしい言葉を使うと
「労働生産性の向上」ということ
で、このためには、どうしても人
力の数倍も仕事をする機械力に頼
らなければならぬでしょう。
その機械も、一度にたく
さんの仕事ができる、大型
トラクター・コンバイン等
の大型機械が必要です。こ
のように、大型農業機械を
使うようになると、現在の
ようなせまくて形のふそろ
いな農地ではどうにもなり
ませんので、一やく広くて
区画もきちんとしていてど
の耕地に行くのにも、よい
道路があり、思うように水
の掛け引きができる農場が
要求されます。
この地方の農村を豊かに
するためには、こうした理
想的な圃場と農村のモデル
をつくり、それからだんだ
ん周辺の既耕地に、その効
果を及ぼしていくことが必
要でしょう。
(次号につづく)

狩猟のときの 事故防止

狩猟は、レクリエーションまた
はスポーツとして、年々愛好者が
ふえて、全国で三万人をこえ、
茨城県では、一万人を数えるに至
っています。狩猟期間中は、県外
からの愛好者をふくめて約二万人
が、銃を手にするようになるので
す。
運搬の際は、ケースなどに入れ
むき出しのままでは持ち歩かない
ようにしましょう。また、狩猟免
状、銃所持許可証など許可証は
必ず携行してください。
○狩猟の際は、使用前に銃器を点
検し、調子が悪いときは使用しな
いように。
○発射をする直前まで、たまをこ
めないように。いざ撃つときは、
矢先を十分確かめ、安全の確認と
狙撃の自信がなければ発射をやめ
ましょう。
○すべりやすい履物や、草やつるな
どにひっかかりやすい履物をはかな
いように。やぶの中を歩くときは
引金を用意金の上から掌で覆うよ
うにします。
○狩猟の経験の浅い人は、老練な
狩猟家を選んでその人と一緒に出
猟しましょう。
○グループで行動するときには、常
に相手のことを考え、銃をしまし
かり保持しましょう。
○休憩するとき、銃は自分の眼の
とどこに置きます。多数で
休憩するときには、みんなに見え
るように地上に置き銃口を安全
な方向に向けておきます。



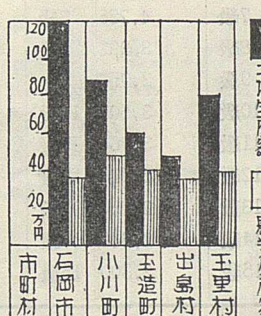
はじめに

みなさん方は、農業基本法とい
う法律ができた、農業構造改善
という言葉が、よく使われている
ことをご存知でしょう。そのうえ
どうしてこのような法律ができた
のか、なぜこのような言葉が使わ
れるようになってくるのか、その
わけも、よく知っておられると思
います。
けれども、そのわけを一口でい
えば、農家の方たちが、もっと裕
福になっていだけるようにつく
られた法律であり、それを実行す
るための言葉ではないかと思う
のです。
では、農家ももっと裕福になり
この地方の農村が、豊かになるた
めには、どうすればよいのでしょ
うか。つまり、言い換えるとし
この地方の農業構造を、どのように
改善していったらよいのであろう
かということになるのです。
このことについて、たくさんの方
の人がいろいろと考へ、有意義な

意見を発表しました。その論議の
結果、この地方の農村を豊かにす
るのには、高浜入干拓をつくるこ
とが、もっともよいことだとい
うことになったのです。
なぜ、干拓が必要となったので
しょうか。これから、そのわけを
述べましょう。

少ない農業所得

まず最初に、次のグラフを見て
いただきます。
このグラフは、高浜入干拓をつ
くろうと考へた五市町村の、農業
状況を示したものです。
高浜入干拓に開拓する市町村に
は、全部で一萬二千ヘクタールの
耕地があって、約一萬一千戸の農
家が耕しており、その農業生産額
は、約四十二億円でいわれています。
すから、農家一戸あたりになります
と、約一ヘクタール前後の耕地を
三人以下の家族労働で耕作し、約
三十万円から四十万円相当の生産
をあげていることになりました。
また、大体各関係市町村とも、
この程度で、ほとんど共
通したような農業を営
営していることも、このグ
ラフから推察されること
です。
しかし、このように一
生懸命農業に精を出して
いる人々と、工場等で
働く人々を比べたら、
どうなるのでしょうか。
こんどは、次のグラフ
を見てください。
このグラフは、前のグ
ラフと同じ資料から、高



浜入干拓に開拓する市町村内にあ
る工場、あるいは製造所等で働く
人たちが一人当りの生産額と、農家
一戸当りの農業生産額を比べたも
のです。
現在、この関係市町村内には、
大小約三六〇か所の工場や製造所
があって、約三千人ちかい人たちが
働いていて、ここで生産され
る品物は、約三十五億に相当し
ていますので、一人あたりの金額
に換算しますと、約百万円ちかく
になります。
町や村で、工場の種類や規模が
違っても、一人当りの生産額も大
幅に違っています。それによ
り、農家一戸分の生産額より多
いことに気づかれるでしょう。全
体から考えると、農家三戸分ちか
い仕事を、工場等では、たった一
人でやれていることになりました。
こういうことから考へますと、
いかに農家の所得が少ないかがわ
かるでしょう。

黄萎病の発生状況 と予想

玉造町におけるイネ黄萎病の発
生状況と、四三年の予想は、次
のとおりです。
①普及所の観察によると、町の水
田面積の九六パーセントが、黄萎
病にかかっています。
発生割合からみますと、次の
ようになっています。
一〇％以下 九九五
一〇一〇％ 一〇四
これらの発生率による減収率を
玄米に換算しますと、一〇％あた
り、平均三〇一五〇と推定され
る。②鉢田病害虫防除所の、発生予
想と対策は、次のとおりです。
本年再生稲に多発した地域は、
多発することが予想され、被害も
多くなるので、四三年に防除対
策が必要です。
防除薬剤は、マラソン粉剤、デ
ナボン、ホップサイドのほか、数
種類の殺虫剤があります。

善意銀行の窓口 から

○そうきん二一〇本、ハタキ三〇
本、第四玉雲会(会長島本源吉さ
ん)から預け入れ、玉造小学校へ
払い出しました。
○そうきん一三五本、ハタキ三三
本、第四玉雲会から預け入れ、玉
造中学校へ払い出しました。
○座ふとん四〇枚 沖洲・幡谷久
さんから預け入れ、同ときわ老人
クラブへ払い出しました。

手足の不自由な こどもに愛の手を

手足の不自由なこどもは、全国で七万六千人、本県にも約二千人おり、こどもたちは、手足の不自由さに打ち勝つために、一生懸命な努力をしています。このこどもたちの福祉がはかられ、社会復帰ができるようにするには、一般の人びとの理解と温かい愛の手が必要で

そこで、今年も一月一日の「肢体不自由児愛護の日」から一か月間、第一回「手足の不自由なこどもを育てる運動」を、全国的に、強力に展開することになりました。

今回は、「手足の不自由なこどもに愛の手を」を標語に、脳性小児マヒ対策の推進と、肢体不自由児の職業自立促進の二つを重点的な目標として、次のような各種行事が行なわれます。

運動月間行事

- ▼友情年賀ハガキの配布―主として小中学校の児童生徒を対象に、二枚一組袋入り一〇円の絵ハガキを配布し、肢体不自由児及びその家庭の福祉のためにあてます。
- ▼愛の年賀ハガキの配布―一般社会人を対象に、三枚一組袋入り二〇円の絵ハガキを配布し、肢体不自由児とその家庭の福祉のためにあてます。
- ▼友情の作文と図画の募集
- ▼高校奨学生募集―高等学校に

スポーツ

☆体育の日

記念大会

○一月一日の体育の日を記念して、青少年を主とした男女混合チーム九人制によるバレーボール大会が、玉造中学校体育館で行なわれ、現原青年団チームが優勝しました。

○同日、青年団野球大会が、玉造中学校グラウンドで行なわれ、玉川青年団チームが優勝しました。

☆小学校陸上競技会

一月九日、玉造教育会小学校部の陸上競技会が、玉造小学校で行なわれました。

成績は、次のとおりです。

男子

百メートル 5年①川島敏男(浜) 14秒

800メートル(現原) ③羽生幸一(玉川) 6年①磯山勝則(手賀) 14秒6

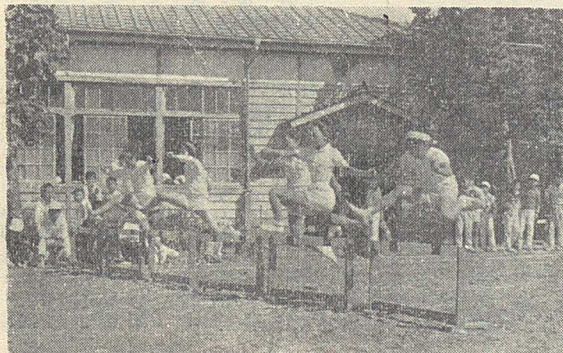
②中島邦夫(玉造) ③鈴木喜昭(玉川)

八十メートル 5年①石田泰雄(現原) 14秒2 ②代々木浩(玉造) ③大和田正一(浜) 6年①栗野武(玉造) 14秒2 ②山中一衛(羽生) ③根崎義久(現原) 6年① 5年①小沼博志(現原) 1分59秒 ②曾根堅嗣(手賀) ③柳瀬興二

千メートル 6年①箱根浩二(玉造) 3分26秒

四百メートルリレー 5年①手賀 1分22秒06 ②浜③現原 6年①玉川 58秒8 ②現原③玉造

ボールスロー 5年①飯島宣之(羽生) 47秒80 ②理崎勇次郎(手賀) ③関信敬(玉造) 6年①井川照雄(浜) 50秒78 ②原田哲男(現原) ③大場清隆(玉造) 走幅とび 5年①原田照夫(現原)



3分80秒 ③川島敏男(浜) ③根本裕一(玉川) 6年①代々城恵寿(玉造) 4分05秒 ②原田久(現原) ③佐山喜一(手賀)

走高とび ①関口久雄(現原) 1分26秒 ②飯島賢治(玉川) ③代々城勇治(玉造)

女子

百メートル 5年①関野和子(玉川) 16秒1 ②根本春江(玉川) ③小貫文子(現原) 6年①阿部和代(玉川) 14秒8 ②郡司文子(現原) ③風間恵子(現原)

八十メートル 5年①藤崎愛子(現原) 15秒3 ②染谷鈴代(玉造) ③宮谷直美(現原) 6年①茂木知子(手賀) 15秒1 ②新堀満子(玉造) ③風間幸子(現原) 四百メートルリレー 5年①玉川1分3秒06 ②手賀③玉造 6年①現原1分1秒2 ②玉川③手賀

ボールスロー 5年①小沢光江(玉造) 31秒25 ②島田栄子(現原) ③丹井ふみ子(浜) 6年①長谷川澄子(玉造) 38秒61 ②高野芳子(手賀) ③遠藤敦子(羽生)

走幅とび 5年①小林澄江(浜) 3分37秒 ②広内かつ枝(現原) ③斎藤香代子 6年①宮谷喜美枝(現原) ③76秒 ②代々城多美子(玉造) ③栗山弓子(手賀)

走高とび ①小沼綾子(玉川) 1分17秒 ②野原文江(手賀) ③横田恵子(羽生)

「茨城百年」の 写真公募

昭和四三年一月二三日は、明治改元の日からちょうど百年にあたります。

明治百年を記念して、県では、「茨城百年写真集」を編集発行するので、明治から現在まで、とくに第二次大戦直後までの県歩みをあらわす写真を募集しています。写真の範囲は、政治経済活動の変遷・文化風俗のうつり変り・都市田園のうつりかわり・大きな災害事故・記念すべき構造物・百年の歴史に重要な役割を演じた人とその活動など。

しめきり 昭和四三年三月三十一日

応募先 茨城県民営広報第一係

写真を送る場合、撮影時期・場所・住所氏名を明記してください。写真以外でも貴重な文庫・物件などお知らせいただければ出張撮影します。

掲載された写真の提供者へは、写真集が贈られます。写真集は、B4版・六四頁程度グラビヤ印刷です。

作品展示即売会

とき 二月二日・三日 午前九時―午後四時、一日は午後一時まで

ところ 東町スポーツセンター

即売作品 整理ダンス・下駄箱・机・いす・人形ケースその他

公共職業安定所・共同職業安定所 授産所

交通安全母の会の活動

現原地区交通安全母の会(会長山口うらさん)では、秋の交通安全運動の一環として、一月九日に役員会を開き、種々協議し、その計画にもとづいて、この運動を強力に展開しました。

○期間中、地区内主要一〇か所において、町交通安全協会と協力し、交通指導を行ない、指導記録をとり、今後の資料としました。また、その結果、児童の優良グループに対して、母の会から表彰することになりました。

○一月二十五日(本校)―一月二日(分校)の両日、警察官を招いて、児童を対象として、道路の歩き方、自転車の乗り方などについて実施訓練をしました。

ありがたい贈りもの

○松本老人クラブ(会長大曾根恒男さん)から竹ぼうき二〇本、ぞうきん二五枚。

○中山老人クラブ(会長大久保徳次郎さん)から、掲揚柱用の大國旗一旗。

○交通安全母の会(会長山口うらさん)から、来賓用スリッパ一〇足、ぞうきん五〇枚。

罹災者への善意

上山の平間英二さん宅は、一月一日全焼しましたが、平間さんのおもむきで、一年・三年に在学しており、おともだち一同は、舞金として九千五百円を贈りました。また、PTAから、一年・三年の教科書全部を贈りました。



現原小学校

私たちの作品

よしぼうちゃん 二年 小沼 孝光

よしぼうちゃんは、ぼくといとこです。四年生で、家は東京の沼田です。たし名前は、小沼克臣といひます。

このあいたの休みのとき、ぼくのうへへそびにきました。

そして、二人でやぎゅうをしました。よしぼうちゃんは、どんなにまでうってしまいました。ぼくははじめ五とりました。ぼくはからだ小さいので、三とりました。

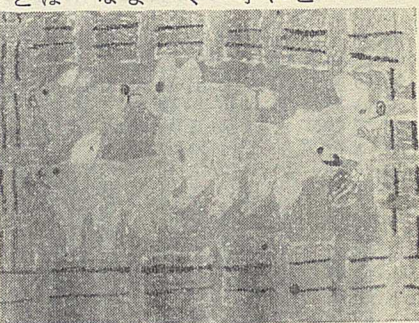
さいごに九と七のせいせきでよしぼうちゃんがかちました。

それから、自てん車のりをしました。それは、だんせんぼくが早くて、風のように「ビュー、ビュー」と、とびました。あせがでてきました。まけないつもりでできました。せ中がべたべたになるまでのりました。二人ともつかれました。

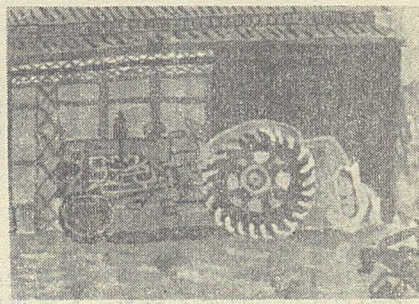
よしぼうちゃんが「やぎゅうはよしぼうちゃんか」

だれでも知っている、ゆうめいな小林一茶を、私は読みました。一茶は、いまの長野県で生まれて、二さいのときに、おかあさんに死なれてしまいました。そしてやさしいおとうさんや、おばあさんの手でそだてられました。

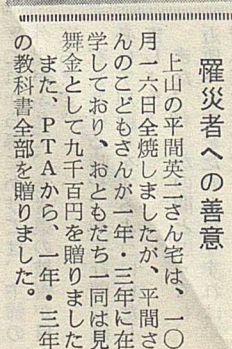
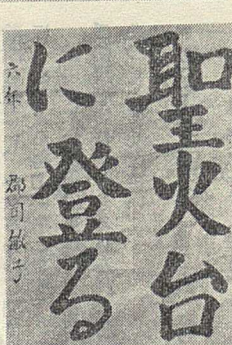
しかし、二とめのおかあさんを



ぶた 2年 風間 啓次



トラクター 5年 坂本 透



ハイゆうびん

郵政省では、電気料金や電話料など、わずらわしい毎月の料金支払いから、奥さまを解放して、その余暇を有意義にご利用いただけるよう、生活の合理化の一助に「郵便局の自動振替」制度のご利用をおすすめしています。

○自動振替のしくみ

毎月の電気料金や、電話料などを、郵便局があなたにかわって、お支払するしくみです。集金日にご住宅の

奥さまに余暇を

毎月の各種料金の支払いに、郵便局の自動振替をぜひご利用ください。

年末資金の受付

当会では、地域業者の年末における金融の円滑をはかるため、一月一日から、国民金融公庫の貸付要項にもとづき、申込みの受け付けを次のとおり行なっております。お気軽にご相談ください。

第一回 一〇月一日～三十一日
第二回 十一月一日～二〇日
第三回 十一月二日～十二月二日

貸付期間 六か月
貸付限度 二〇〇万円

年末資金の受付

受付

ただし、現在の債務発生額を差し引いた残額以内

貸付利率 日二銭二厘四毛

返済方法 分割または一括

その他の金融機関からの借入れについてもあつたいたします。

技能検定試験に合格

七月に実施された技能検定試験で、千ヶ崎信行さんは、左官職の部で一級技能士に合格しました。

火災共済の

契約引受額を拡大

いままでの火災共済の契約引受額は、三〇〇万円まででしたが、組合の資金内容も充実したので、

必要がありません。

おついでに、郵便局に入金しておきますと、あとは郵便局で手続きしますから、とくに近所がちなお宅や、共かせぎのご家庭には、ご便利です。

自動振替の申込み

まず、「郵便振替口座」をお持ちください。郵便局に備付けの加入申込書に、口座開設料五〇円を添えて、近くの郵便局に提出していただきます。

自動振替の利用申込みは、事業者に出していただきますが、郵便局でも取扱っていますから、加入申込みの際に一しょにお出しになれば、あとはいっさい郵便局で手続きします。

自動振替を利用できる事業者などについては、近くの郵便局におたずねください。

今般監督官庁の認可を得て、これを大幅に拡大し、七〇〇万円としました。

万一に備えて、評価額に見合う保険に加入して、尊い財産を守ってください。

掛金額は、業種により違いますので、事務局へおたずねください。

店舗の診断

店を新築・改築するとき、まずいかにしたらお客が入りよく、商品が売れる店になるか、お迷いになることでしょう。こんなときには、早速商工会にご相談願います。専門の講師を依頼して、店舗の

古い年金に

有利な特別措置

郵便局で取扱っている郵便年金制度は、掛金を一時にまとめて、あるいは分割して払い込んでおく、あるいは一定の期間、年金を受取れるというしくみのもので、老後の生活の備えや、学資金の用意に利用されています。

ところが、戦前から戦後間もない時期に加入した郵便年金契約は、戦後のあの混乱の影響を受けて、残念なが現在ではほとんどが加入者の期待にそえなくなりました。郵政省としては、加入者が、これまで年金を受取るために、毎回郵便局に出向かなければならぬ不便をなくすとも考え、これらの加入者の気持ちも考え、これらのだけ有利に取扱いをしたいものと検

診断を行ない、みなさんのご期待にそえるよう努力いたします。

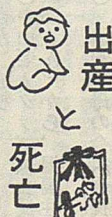
費用は本会負担ですから、ぜひご相談になり、センスあふれる店をつくらせてください。

昭和四三年の

カレンダー作成

本年作成したカレンダーが、たいへん好評でしたので、四三年度も作成し、町内全世帯に配布することになりました。

従来さしあげていました、各店からのカレンダーは、廃止となりますからご承知ください。



出産

死亡

〆〇月〆

▽これから暮にかけては、主婦の外出がふえて、あき果の被害が目立ちます。

家をあげる時や、やすむ前には必ず戸締りをするようにいたしましょう。

また、わずかの間と思っても、近所へるすをたのんだりすれば、安心できます。

◆おめでた

赤ちゃん	父	続柄	部	落
今泉 孝子	文吉	二女	中	山
武内 一恵	英二	長女	横	町
飯田 正和	和好	長男	里	山
堀田 あけみ	清明	長女	小	座
鈴木 次男	今朝	二男	高	須
野口 勝正	正義	長女	船	津
堀井 めぐみ	正勝	長女	船	津
高塚 朗子	弘	三男	羽	生
中野 忠	弘	三男	羽	生
今泉 晋一	弘	三男	羽	生
大久保 民子	昭一	二女	柄	貝
堀 恵美子	成三	長女	上	宿
堀 秀文	欣也	長男	上	宿
堀 宏文	欣也	二男	上	宿
代々木 良栄	栄久	四男	上	宿
小津 茂	正男	長男	下	宿
小沼 千秋	清嗣	長男	下	宿
◆おくりやみ				
石田 名	年令			
村治	八四			
瀧崎 盛	六三			
野原 きみ	七五			
新田				
泉				
沢				
落				